



NPO PTPL “ともいき” 便り No.62

平成 26 年（2014 年）10 月 23 日発行

■霜降（そうこう） 10 月 23 日から 11 月 6 日までの節気

霜降の節気では、寒さが次第に強まり、冷気で露が凍って薄い霜が降りるころです。秋の終わりを惜しむように、野山は紅葉で美しくよそおい、動物たちは、冬ごもりに備えて忙しくなる時季です。

◎国民の祝日とハッピーマンデー制度

10 月 13 日は国民の祝日「体育の日」でした。当日、関東地方以北は、何とか台風 19 号の影響も少なく「体育の日」にちなんだ行事が行われましたが、西日本地方では様々な行事が中止または延期となりました。

今月は「1964 東京オリンピック」から 50 年の節目ですが、東京オリンピックの開幕日 10 月 10 日を「体育の日」ということに、子どもの時から慣れ親しみ、特にこの日は、澄み切った青空が全国的に広がると特異日という記憶があったと思います。

それが、ハッピーマンデー制度によって、平成 10 年(2000 年)に成人の日及び体育の日が、平成 13 年(2003 年)に海の日及び敬老の日が、それぞれ月曜日に移動しました。

国民の祝日を制定するにはやはり、制定にあたっての本来の大きな意味があるはずですが。単に月曜を休日にするることによる 3 連休を増やして余暇を過ごしてもらおうという発想には、少なからず疑問を感じます。

国民の休日には日本の綿々と続く行事や季節を告げることを祝う日でもあると思います。故に、もっと、もっと国民の休日の意味を知るべきだと思います。

ただ、「海の日」は 7 月 20 日に固定する動きがあるようですが・・・。

平成 28 年度から導入される「山の日」も固定するのでしょうか、あるいは数年経つと月曜日に移動するのでしょうか。

皆さんはハッピーマンデー制度どのように感じられますか。

◎前号(No61・寒露)では、新米の話をお伝えしましたが、この時季の季語に「新酒」があります。「新酒」とは、今年収穫した米で作るのが、新走りの名で呼ばれる新酒で、新酒が出来上がると、杉の葉を球状に束ねた酒林が酒屋の軒に吊られました。

杉の葉の青々した酒林が売り出しの合図だったのようです。

今では寒造りが主流になり、十二月に仕込み、新酒が出るのは二月から三月になりますから歳時記とは時季がだいぶずれてしまいました。

日本には日本酒や焼酎をはじめ世界各国の酒が飲めるお店がたくさんあり、酒好きの私として夜の楽しみが尽きません。

でも、やはり、日本人なのでしょう、ここ数年は特に、日本酒がうまいと感じる年代になったようです。

これからの季節、ヌル爛で、もう少し寒くなると熱爛と旬の魚や野菜をいただけることは日本人に生まれてよかつと感じる時です。

佐藤 誠 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局)

■ ともいき・ともうみ雑感彼是

◎末枯（うらがれ）。この色彩も捨てたものではありません。見れば見るほど味わい深い世界です。

草木の葉先や枝先が枯れることを末枯といいますが、その思いを更に進めて、盛りを過ぎた衰えを読み取ろうとするのが末枯という季語です。

◎秋寂び（あきさび）。近ごろ秋になると、こんな言葉にとっても惹かれます。歳のせいでしょうか。

「寂び」には優美に振る舞うとか、閑寂で渋い味わいのあることなどプラスの語感もありますが、大方は寂しくなる、寂びれる、衰えるといったマイナスの語感の方が強く、この「秋寂び」もこの部類に入ります。「秋深し」や「暮れの秋」などより暮れてゆき秋への哀惜を込めた、かなり主観的な季語といえます。

◎打って変わって、10月31日の「ハロウィーン」(Halloween)の話をしてみたいと思います。近ごろ10月の末の年中行事として10月31日の「ハロウィーン」の行事が子どもたちの間で大人気、完全に定着してきました。

キリスト教徒は日本の人口の1%といわれていますが……。どうしたことでしょう。子どもたちにとって、子どものための年中行事としての魅力があるのでしょうか。魔女やお化け、はやりの衣装で変装した子どもたちがカボチャをくりぬいて中にろうそくをともし「お菓子をくれなきゃ悪戯するよ」(Trick or Treat)といいながら家々を回ってはお菓子などをもらいます。そして、さらに広がって「ハロウィーンパレード」や「ハロウィーンフェスティバル」が行われています。(シンボルカラーはオレンジと黒です。)

さて「ハロウィーン」の起源は？ あなたはご存知ですか。

キリスト教では万聖節(あらゆる聖人を記念する祝日。11月1日。)の前夜祭、10月31日が「ハロウィーン」です。

アイルランドの古代ケルトの暦では、11月1日が新年で、10月31日は大晦日でした。31日の夜には死者の霊がこの世に戻ってくる(家に帰ってくる)と考えられており、大きな焚き火をたいて供物を捧げ、その火を家々に持ち帰って悪魔から身を守ったといえます。(また、ほうきに乗った魔女が黒猫を連れてやってきて悪さをする日ともいわれています。)

この古代のケルトの民族的習慣がキリスト教の宗教行事と融合して「ハロウィーン」が成立したとみられています。

日本というのは、懐の深い国です。よいと考えたら、おもしろいと思ったらそれを「日本化」して日本の年中行事、生活習慣のひとつにしてしまうのです。

不思議の国、日本「ジャパネスク」ですね。



勝田 祥三 (NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 理事長)

■ 事務局だより

●先週末あたりから、北海道や富士山、そして御嶽山が初冠雪したというニュースが届きました。北からは白い便り、関東以西からは紅葉・黄葉の便りと、日本列島が白色と紅色・黄色に染まっています。宇宙から日本列島の染まりを見てみたいものです。

●今後の雑感彼是これでは「ハロウィーン」の話が出ましたが、日本でいち早くキリスト教の宗教行事を「日本化」したのが、「クリスマス」でしょう。日本の年中行事で外国から伝わった行事を「日本化」したものは他にもありそうです。

● Facebook「ともいきぐらし」(<https://www.facebook.com/tomoikigurashi>)
「おらが富士計画 ふるさと富士山探し」(<https://www.facebook.com/oragafuji>)
「ジャパネスク」のテスト版サイト (<http://japanesque.pw/>) をご覧ください。
そしてお意見、ご感想をお寄せください。お待ちしております。

● 会員募集のご案内

NPO 活動を推進していくためには、多くの皆さま方のご支援・ご協力が不可欠です。

NPO PTPL では、常時、個人会員と法人会員を募集しています。この便りをお読みの方で、ご本人またはお知り合いの方々にご案内いただければ幸いです。詳しくは下記まで、メールまたはお電話・FAXにてお尋ねください。

●前号のお届け段階では、メール機能に障害が発生しましたが、現在は復旧しております。ご迷惑をおかけしましたことお詫び申し上げます。

■ お問い合わせは

NPO PLANT A TREE PLANT LOVE 事務局 担当：佐藤
〒105-0001 東京都港区虎ノ門 1-2-18 虎ノ門興業ビル7階
電話：03-6205-7503 FAX：03-6205-7504
Email：info@plantatree.gr.jp